



海と文化の交差点・共創のまち浜田

広報
はまだ

はまだ

2005

4 / 1 日号

No. 1377

編集・発行 浜田市総務課 ☎0855-22-2612

<http://www.city.hamada.shimane.jp>

E-mail: info@city.hamada.shimane.jp

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地



主な内容

- ◇ 平成17年度施政方針…………… 2～5
- ◇ 犬の登録と狂犬病予防注射…………… 6
- ◇ 図書館からのお知らせ…………… 9
- ◇ 子育て & 健康ひろば…………… 10～12

3月9日(水) 下府川において、鮭の稚魚の放流がありました。これは、下府川を楽しむ会によるもので、何年かあとにまた下府川に戻ってくるのを期待して、会員と宇野小の子どもたちは稚魚を放流しました。

平成17年度施政方針

宇津徹男市長は、第405回浜田市議会定例会の開会に当たり、諸議案の説明に先立ち所信の一端を述べ、市民の皆さんのご理解とご協力を呼びかけました。

今回は、その内容を抜粋してお知らせします。

今定例会は、現浜田市の3月議会としましては最後の議会となります。昭和15年の市制施行以来、諸先輩が築いてこられた65年の浜田市の歴史を思うとき、感慨深いものがあります。これまで浜田市発展のために関わってこられた議員をはじめ多くの皆さんに敬意を表するものであります。

さて、地方自治体を取り巻く状況は、回復傾向にあると言われながらも、依然として低迷している経済状況と国の三位一体の改革により、ますます厳しいものとなっております。

今後、この圏域を更に発展させていくためには、那賀郡4町村との合併により力を合わせ、この難局を乗り切っていく以外未来を描くことはできないものであり、また、それぞれの地域がお互いの特色を活かすことに

より浜田圏域の魅力を高めることができるものと考えています。

紆余曲折はあったものの、昨年12月23日に合併調印式を行い、去る1月17日には島根県知事に那賀郡4町村長と一緒に合併申請書を提出することができました。

これも浜田市議会の議員、合併協議会の委員、そして何よりも市民の皆さんの多大なるご支援ご協力のたまものであり、改めて厚くお礼申し上げます。また、私が平成8年に市長就任以来、最重要課題として取り組んできた浜田医療センターの移転新築についても、地域を挙げての支援により、昨年11月に独立行政法人国立病院機構から方針決定がされました。

地域医療の機能充実と医療体制の整備は、市民の皆さんが安心して暮らしていくために、ま

た、住み良いまちづくりを推進する上で、欠かすことのできないものです。

これまでの市民の皆さんをはじめ関係機関の皆さんの取り組みに対し、心からお礼を申し上げます。

平成17年度は、この2つの事業の基礎固めをしなければならぬ年です。それぞれの事業の推進について、職員一丸となって取り組んでいきます。

市町村合併について

合併により誕生する新「浜田市」は、まちづくりの理念を「青い海・緑の大地 人が輝き文化のあるまち」としています。

新市においては、市民の皆さんに、「あの時合併して良かった」「ここに住んで良かった」と言っていたことを良かっただけでなく、進めなければなりません。

合併協議会において確認されました新市の「まちづくり計画」は、「安心して、健やかに、楽

しく住める一体的なまちづくり」と「地域の個性を活かしたまちづくり」を基本とし、魅力と活力に溢れ、21世紀に飛躍する、住民主体の新しいまちの実現を目指すこととしています。そして、地域住民の声を反映した、きめ細やかなまちづくりを推進するため、全国に例のない「浜田那賀方式自治区」を設置します。

この自治区制度は、地域の歴史と伝統・文化を継承し、住民の皆さんが自ら考え、自ら行動

する、いわば自治意識を醸成し、住民自治が根づく仕組みを構築するものです。

新市誕生に向け、自治区制度の具体的な調整のほか、機構・組織の問題など、今後、詳細で多岐にわたる事務事業の調整が必要になってきます。

新「浜田市」にスムーズに移行するため、諸々の課題に精力的に取り組む、残された7か月間で万全の準備を進めていきます。



▲12月23日(祝) 合併調印式の様子

浜田医療センターの 移転新築について

今回の事業決定については、厚生労働省から独立行政法人化後の国立病院機構としては、第1号となる施設整備です。

この事業は、平成21年度中の開院を目指して取り組みが進められており、本年6月末までには、新病院の施設規模や病院機能などの基本構想をまとめ、基本計画へとつなげていくことになっていきます。

この取りまとめにおいては、移転用地の確保、建物の地元負担割合、成人病予防センター合築の手法、リハビリテーション

機能や地域医療支援機能などの病院機能のあり方などが主な検討事項となっています。

このため、国立病院機構、島根県、島根県環境保健公社、地元市町村で組織する「浜田医療センター整備推進関係者会議」を立ち上げ、作業部会での検討に入っています。

今後は、この事業の早期完成を目指し、関係機関との協議を円滑に進め、地域の皆さんに信頼され、愛される医療機関として整備されるよう働きかけていきます。

議員各位をはじめ、市民の皆さんのご理解とご支援をお願いします。



▲11月22日(月) 浜田医療センター懸垂幕除幕式の様子

平成17年度の新たな 事業など主要施策

保健、福祉および環境

○保健施策

第2次浜田市保健計画に基づく市民の健康の保持増進と疾病予防対策の推進、地域との連携を強化した介護予防事業の充実、国民健康保険制度の健全かつ安定的な運営と適正な医療給付に取り組んでいきます。

特に、乳がんの早期発見のため、マンモグラフィ検診を新たに導入することとしています。

○福祉施策

高齢者や障害者の自立と社会参加の促進、介護保険制度や支援費制度の大幅な見直しへの円滑な移行、次世代育成支援行動計画に基づく子育て支援の充実に取り組んでいきます。

特に、平成17年度も保育料の更なる軽減を行うとともに、児童虐待予防や療育への支援、食育の推進、子育て支援のマネージメントなどに取り組んでいきます。

○環境施策

環境基本計画に基づく良好な環境づくりの推進、分別収集の

徹底によるごみの減量化とリサイクルの推進に取り組んでいきます。

産業および経済

○水産業の振興

魚価対策としてのブランドの確立、漁船リース支援事業の検討、安全衛生対策としての海水処理施設の整備、瀬戸ヶ島地区の土地利用計画の検討に取り組んでいきます。

特に、「ごんちうち」ブランドの確立や、公設水産物仲買売場の殺菌処理施設の整備などによる水産物の衛生管理の向上に努めていきます。

○農林業の振興

「中山間地域直接支払制度」を活用した農業・農村の振興、農業振興地域整備計画の策定および農林業生産振興支援組織の検討に取り組んでいきます。

○商工観光の振興および雇用確保

TMO構想の推進による商業の活性化、「第4回EJビジネスフェア」の開催などによる地域産業の支援、浜田港の利用促進、地域再生計画に沿った観光事業の推進に取り組んでいきます。

特に、雇用については、浜田地域の雇用環境は厳しく、既存の産業に加え、新たな産業振興

による雇用の創出が重要です。

これらに対応するために、平成17年度から産業振興に係る新たな部署を設置し、施策の強化を図るとともに、島根県および関係機関と連携を図り、新市の産業振興ビジョンの策定に向け取り組んでいきます。

都市基盤の整備

○高速道路事業、県道および市道事業の推進

浜田三隅道路の整備促進、浜田自動車道および江津道路の利用促進、県道田所国府線など4路線の県道改良事業の促進、あんしん歩行エリア事業および市道清水野原線など4路線の市道改良工事の推進に取り組んでいきます。

○河川、ダム、砂防、急傾斜地崩壊対策事業

第二浜田ダム本体工事の早期着工の要望と事業促進、周布地区鷹巣谷川砂防事業の促進、国府地区オケ峠川護岸工事の整備促進、吉地川改修工事の推進に取り組んでいきます。

○下水道事業

国府地区下水道事業の一部供用開始と整備の推進、美川地区農業集落排水事業への接続の推進に取り組んでいきます。

特に、国府地区終末処理場の

国府浄化センターが本年3月下旬に完成し、4月から一部供用を開始します。

○地籍調査

宇津井地区地籍調査事業の推進、熱田地区三三調の推進に取り組んでいきます。

○開発整備事業

浜田駅北開発事業の推進、市役所周辺地区の駐車場整備の推進に取り組んでいきます。

特に、浜田駅北開発事業については、浜田医療センターを核とした医療ゾーンとして、駅北地区の整備を進めていきます。

教育行政

中学校においては、平成16年度には、柔道と陸上における全国大会連続出場のほか、第一中学校が島根県中学校体育連盟の最優秀校として「岸記念賞」を、島根県初の2年連続、通算5回目の受賞をするという快挙を成し上げました。また、第二中学校も県下の上位にランクされるなど優秀な成績を収めました。この他にも、英語弁論大会をはじめ文化活動におきましてもすばらしい成績を挙げています。

このように、中学生が力を発揮しているのは、小学生の時から学習やスポーツ活動に着実に取り組んできた証であり、引き

続き保護者、地域、関係団体の皆様のご支援をいただきながら、より良い児童生徒の育成に努めていきます。

また、いよいよ念願でありました原井小学校新校舎が竣工し、本年4月には開校します。

地権者をはじめ関係者の皆さん並びに議員の皆様のご支援、ご協力で改めて感謝を申し上げます。

○学校教育

学習・生活両面での基礎基本の徹底、各種体験活動を取り入れた学習の推進、学校生活支援

のための非常勤職員派遣事業の導入、バランスの取れた学校給食の提供と「食育」の充実、地域と連携した児童生徒の安全確保対策の強化に取り組んでいきます。

○学校関係施設

国府小学校体育館の大規模改修、学校給食センター移転新築に向けた基本・実施設計、長浜小学校の現地改築に向けた敷地測量調査に取り組んでいきます。

○生涯学習

家庭や地域における教育力の向上や子どもたちの生きる力を

育むため、「家庭教育手帳」活用の促進、家庭・学校・地域との連携、県立大学・生涯学習推進センター・NPOなど関係団体と連携した事業の推進に取り組んでいきます。

特に、原井小学校を「地域に開かれた学校」のモデル校として位置付け、地域教育コーディネーターを中心とする学社融合拠点整備事業を進めていきます。

○スポーツの振興

日常的に気軽に取り組める「歩け運動」



▲原井小学校新校舎

や軽スポーツの普及、ビーチバレーボール大会の開催、浜田市では初めて開催される「全国水産・海洋高等学校カッターレース大会」の支援など、海を活かしたマリンスポーツの振興を中心に取り組んでいきます。

○文化振興

浜田市美術展など市民の芸術文化活動の発表や鑑賞の機会の拡充、島根県文化団体連合会との共催による「県民文化祭」の開催に取り組むなど、地域文化の振興と向上に努めていきます。

水道事業

清浄豊富な水道水の安定供給のため、水道未普及地域解消事業の推進、第4期拡張事業による浄水施設・配水施設などの基幹施設の耐震化対策の推進、老朽化施設の計画的更新・改良、配水管網整備、施設管理強化、漏水調査などの配水施設整備事業の推進に取り組んでいきます。

特に、水道未普及地域解消事業については、三階町・長見町地区は平成18年4月の給水開始を目指していきます。美川南地区については、平成21年4月の給水開始を目指し、引き続き工事などを施工していきます。

消防行政

総合的な消防力の強化については、消防団と浜田地区消防本部との連携強化、消防職員と消防団員の教育訓練の充実による資質の向上および施設整備の充実、高齢者家庭を主とした防火診断、防火指導などの住宅防火対策の推進、高規格救急車への更新と救急救命士の計画的な養成による救命率の向上に取り組んでいきます。

特に、消防体制の充実については、管内全体の消防力の強化を図るため平成18年1月に旭町に分遣所を開設することとなっています。

防災対策

災害に強い安全な地域社会をつくるためには、行政の災害対応能力を高めるとともに、市民一人ひとりが常に防災に関心をもち、地域における防災力を高めることが不可欠です。

総合的な防災力の向上のため、土砂災害相互通報システムを活用した迅速な情報提供、職員の初動体制および災害対策本部の指揮命令系統の確認のための訓練、自主防災組織の普及・育成強化を図るためのパンフレット

の作成に取り組んでいきます。

行財政改革

依然として浜田市を取り巻く状況は厳しさを増しており、更なる行財政改革が必要となっております。引き続き、行政評価の実施、職員給与の適正化の推進、民間委託の推進を中心に積極的に取り組んでいきます。

特に、行政評価については、平成17年度は更に評価対象を拡大し、平成16年度の全事務事業の2分の1を目的に実施していきます。

国際交流および国際化の推進

本年は、中国山東省榮成市との友好協力に関する協約締結10周年を迎えます。

国際化の推進については、外人研修生の受入れに対する支援、市民や各種団体が主催する国際化推進事業の支援などに取り組んでいきます。

大学を核としたまちづくり

島根県立大学は、今春の入学志願者数が前期日程で開学以来最高となり、卒業生の就職内定率も好調とのことで大変喜んで

います。

今後も市民と大学の交流を深め、地域の活性化を推進するため、学生が浜田での快適な生活を送るための環境整備、市民と大学が何らかの関わりを持つ「一人一縁運動」の推進、市民と大学の定期的な情報交換や交流の場としての(仮称)「市民サロン」の開設、「共創のまちづくり研究所」を活動拠点とした市民・大学・行政の連携による地域活性化策の共同研究、卒業生の就職支援について、関係機関と連携を図り積極的に推進していきます。

地域振興、男女共同参画および新エネルギーの推進

共創のまちづくりと個性ある地域の形成を図るため、町内会や自治会、NPO法人などの主体的事業に対する支援、「浜田市男女共同参画推進計画」の実現に向けての情報提供や意識啓発事業などの推進、「浜田市地域新エネルギービジョン」を基本とする民間活力の活用を含めた環境に配慮した事業の促進など、官民一体となって取り組んでいきます。

情報化の推進

行政情報化および地域情報化については、合併に向けた電算システムの統合を図るための本庁と支所を結ぶネットワークの整備とセキュリティの確保、電子自治体の構築に向けて、島根県が開発中のシステムを活用した平成18年1月からのインターネットによるオンライン申請と受付の開始、市内全域のテレビ難視聴地域を解消するための第3セクターによるケーブルテレビ整備エリアの拡張支援、ケーブルテレビを活用した議会中継や行政番組の充実、市民生活に直結した行政情報の発信など、「浜田市高度情報化実施計画」を基本に、引き続き情報通信基盤の整備に取り組んでいきます。



おもなできごと



石見神楽の「大蛇」に用いる蛇胴製作で活躍している植田晃司蛇胴製作所の植田倫吉さん(70歳・熱田町)が伝統文化活性化国民協会から表彰されました。この賞は、伝統文化の活性化に尽力し地域文化の振興に貢献、顕著な功績を挙げた人に贈られるものです。

植田さんは、現在も積極的に製作に取り組んでおられ、その作品は全国各地で好評を得ており、石見神楽の知名度の向上にも大きく寄与しておられます。

平成16年度地域伝統文化功労者表彰

4月1日から個人情報保護法が全面施行されます

個人情報取扱事業者は、個人情報の利用目的を明らかにし、その範囲内で取り扱わなければなりません。また、本人の同意を得ずに個人データを第三者に提供することは原則禁止されるほか、安全管理措置、従業者や委託先の監督など個人情報の適正な取り扱いに関するルールが適用されます。

自分の個人情報については、事業者に開示などを求めることができます。また、個人情報に関するトラブルや疑問は、その事業者に申し出るほか、認定個人情報保護団体や地方公共団体、国民生活センターの苦情相談窓口などで相談できます。

※ 詳細は、内閣府国民生活局ホームページ

<http://www5.cao.go.jp/seikatsu/kojin/index.html> をご覧ください。

(総務課行政管理係)